



平成26年2月号
発行:二輪草センター

二輪草だより

センターの活動予定

- ◆3月3日(月)～3月7日(金) 潜在看護師と潜在助産師のための復職支援研修開催
- ◆3月下旬 二輪草プラン推進委員会議
二輪草だより3月号発行

「看護学生と看護師の語るタベ」終了報告

看護部職場適応支援担当 菊地美登里

1月28日(火)第3回「看護学生と看護師の語るタベ」を開催しました。今回のテーマは“いきいきナース!!”これがあるから働ける“私のリフレッシュ法」としました。これまで、キャリアアップを目指している先輩看護師の体験談を聞く企画でしたが、今回は“ライフ”に注目し3名の看護師にそれぞれのリフレッシュ法を話していただきました。学生8名を含む41名の参加があり会場の椅子が足りずご迷惑をおかけしました。

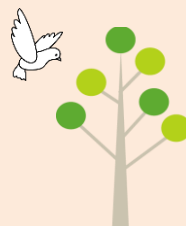
5階西NSの石井沙苗さんは、趣味が多彩で、夏はマラソン・サイクリング、冬はクロスカントリーと活動し大自然を満喫している、かと思えば“そば打ち”にも挑んでいるとのことでした。仕事のONとOFFを上手に切り替え、思いっきり好きなことをすることが、仕事へのエネルギーの充電になっていると話していただきました。

10階東NSの鳥居美穂子さんは、大学院で他の職種の方とディスカッションすることがリフレッシュになっていること、ゴスペルクワイヤに所属し、イベントやコンサートなどで活動していると紹介があり、限られた時間を上手に使っていると感じました。人との出会いを大切に看護師として女性として楽しんで成長していきたいと話されました。

7階西NSの工藤諭さんは、二人の子供の父親の立場で話していただきました。紹介された写真をとおして、子供に対するいっぱい愛情を感じました。父親になったことで待つこと我慢することを覚え自分もちょっと大人になったと話されました。無心に没頭できることを持つことが大切で、自分はバイクでのツーリングと娘たちと遊ぶことがリフレッシュになっているとのことでした。



それぞれのリフレッシュ法が“ワーク”の力になっていることが伝わってきました。自由に語り合う時間がなく残念でしたが、参加した学生のアンケートからは「看護師という忙しい仕事でも趣味が持てるのがわかり、働く姿を想像することができた」など、看護師からは「仕事もプライベートの面も目標をもって生活しようと思った」「見習おうと思った、参考になった」との感想がありました。学生にとっては、自分の働く姿をイメージする機会になり、看護職にとっては自分自身の日常を振り返る時間になりました。



高橋はるみ知事が二輪草センターの視察にこられました

センター長 山本明美

2014年2月3日、高橋はるみ北海道知事が私たちのセンターの視察と懇談にこられました。きっかけは二輪草だより1月号で報告しましたように本センターが平成25年度の「北海道男女平等参画チャレンジ賞」を受賞し、1月22日に道庁で知事とセンター長、副センター長が懇談したことにあります。その中で、知事は私たちの活動に興味を持って下さり、現場をご覧になりたいと思ってくださったのです。当日は病院正面玄関で吉田学長、松野病院長、上田看護部長、間宮副センター長らと知事と上川総合振興局長をお出迎えしたあと、外来棟3階のセンター事務室にご案内しました。センター内のキッズスクール関係の掲示物などをご覧頂いたあと、センター前に掲示した説明パネルで主な業務内容を説明しました。その後、病院長室へ移動して二輪草パンフレットなどの資料をもとにさらに詳細な説明と懇談をしました。知事は質問をはさみながら私たちの活動に終始高い関心を示して下さい、とても大切な活動ですからどうぞ続けてくださいとおっしゃってくださいました。今回の視察を通じて私は、女性知事が治める地方自治体であることを誇りに思い、注目してくださったことを励みによりいっそう、医療分野での男女共同参画を推進していこうと思いました。お忙しいスケジュールを調整してお越しくくださった知事はじめ北海道のみなさま、ありがとうございます。また学長はじめ、知事の視察、懇談に快く協力くださった旭川医大職員のみなさま、ありがとうございます。



病児一時預かり室・バックアップナース・病後児保育室・カウンセリング相談 【1月20日～2月19日までの利用状況】

病児一時預かり室	依頼回数	0回	利用回数	0回
バックアップナース	依頼回数	23回	稼働回数	21回
病後児保育室	依頼回数	18回	利用回数	12回
カウンセリング相談			利用回数	7回

* 病児一時預り室・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます

【お問い合わせ先】

旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)
〒078-8510
北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1
TEL 0166-69-3240(内線3240) サンニンヨレ FAX 0166-69-3249
E-mail: nirinsou@asahikawa-med.ac.jp
開設時間8時30分～17時15分

